

平成 27 年度第 1 回北広島市図書館協議会議事録

開催日 平成 28 年 2 月 18 日(木)

開催時間 午後 7 時から

開催場所 図書館 2 階 AV サロン

【開会：舟橋会長】

それでは、平成 27 年度第 1 回北広島市図書館協議会を開催いたします。

本日は、委員 8 名の出席ですので、規定の過半数を超えておりますので、本日の会議は成立していることをご報告いたします。

はじめに簡単に自己紹介をお願いいたします。

【自己紹介】

伊藤委員→福与委員→岡元委員→北川委員→名越委員→後藤委員→正木委員→舟橋委員
続きまして、職員の自己紹介をさせていただきます。

丸毛館長→蛭名主査→長岡主任→大久保主事

【舟橋会長】

それでは会議次第に従いまして議事を進めさせていただきます。議事の 2 番目まで終了しましたので、3 番目の報告案件から務めさせていただきます。それでは報告案件の (1) 平成 27 年度北広島市図書館利用状況について事務局から報告をお願いします。

【事務局：蛭名主査】

「1.平成 27 年度図書館利用状況」について説明いたします。

1 ページ目をご覧ください。

過去の図書館の利用状況も掲載しておりますが、平成 27 年度につきましては、年度途中であるため、4 月から 1 月までの数字を示しております。また、昨年度との比較対象については、1 ページの下にのせております。

市の人口が 328 人減少に対して、貸出数は全館で 10,126 冊増加しております。

館別では、住民センター以外は増加しております。26 年度末の利用が全体で約 15,000 冊減少しておりましたので、貸出数増加で復活の兆しが見られます。住民センターについては、前年が 2,600 冊ほど増加していましたので、全館的に 25 年度までの通常の利用状況に落ち着いた感じがあります。

年度末まであと 2 カ月ありますので、最終的にはどのような結果になるか未定ですが、26 年度より、貸出数は増加するのではないかと推測されます。

次に 2 ページ目の「2.AV コーナーの利用状況」についてですが、上映会の入場者数は昨年と同期間の比較で 98 人増加しています。昨年度システム更新作業により、AV サロンを使

用していたため、2回ほど上映会をお休みしていましたので、その分の増加と推測されます。AVブースの利用は、やや減少傾向にあります。インターネット端末の利用は絶え間なく利用されている状況が見られます。AVコーナーの利用状況は、変わらず高い年代の利用が全体の利用率につながっていると考えられます。

続きまして、3ページ目になります。「3.予約処理の状況」についてですが、26年度の合計は56,834件でした。今年度も50,000件を超えるものと思われ。現在1月末の数字を昨年度の同期間で比較していますが、937件増加しています。

Webからの予約件数は、昨年よりも昨年同時期比較で昨年が全体の34.6%だったのに対して、今年度は39.2%、約4割と増加しております。Web予約は、いつでも、どこでも蔵書を調べることができ、予約できることが、パソコンやスマホの普及が要因かと思われ。地区では、大曲と西の里の予約の半分はWeb予約ですが、住民センターや移動図書館車では、高齢者が多いため約7割は、カウンターでの窓口予約となっています。

続きまして「4.高齢者等図書宅配サービスやけ便」の利用状況についてですが、27年度は個人の利用が7名、施設利用が1施設となっております。昨年からの利用者数と変化はありません。表の下にも記載していますが、利用者の皆さんは2週間に一度の宅配を大変心待ちにしております。ただ一方で体調不良により宅配をお休みされる方もいたりするので、利用者に応じて届けられるようなサービス維持に努めていきたいと考えております。次に、4ページ目「5.その他の活動」について、活動のうちの一部ですが、3つご紹介いたします。

1つ目は、8月8日～16日までの期間、図書館入り口の休憩コーナーで知新の駅からパネルや資料を借用しまして、戦後70年の節目ということで、展示を行いました。北広島の戦前、戦後、戦中の様子などや軍隊手帳などの実物も展示し、合わせて、特集コーナーでも平和を祈る特集として、資料の紹介を行いました。

次に2つ目の図書館スタッフおすすめ本特集を9月半ばから10月にかけて1カ月ほど行いました。昨年の協議会で、皆様から手書きのポップで「図書館スタッフのおススメ本を紹介してはどうか」とありましたが、一般書・児童書の特集で同時に実施しました。大変好評で、7割以上の本が常時貸出となる状況なども見られました。今後も、年に一度程度、継続していきたいと考えております。

3つ目は、現在も継続中ですが、「知っていますか？北海道米」というテーマで、北海道立図書館北方資料室の資料協力のもと、パネルと資料展示を行っています。北広島で赤毛米の栽培に成功した中山久蔵さんを中心に、図書館所蔵の資料も含めて、展示を行っています。

展示や特集については、今後も関係機関や旬のテーマなどを取り上げて、行ってきたいと考えております。

図書館の報告につきましては、以上です。

【舟橋会長】

ただいま報告がありましたが、説明に対し質問や意見等がございましたら、よろしくお願いいいたします。

【福与委員】

図書館スタッフおすすめ本特集でのポップなどは、読みたいと思わせるもので非常にいい企画だと感じました。

【事務局:蛭名主査】

職員オリジナルでデザインも多種多様でいいものができたと感じております。

【舟橋会長】

この件についての質問はないようですので、平成 27 年度学校図書館利用状況の報告をお願いいいたします。

【事務局:長岡主任】

それでは私から平成 27 年度学校図書館利用状況について説明させていただきます。5 ページをご覧ください。その表の上段をご覧くださいますと、小学校の貸出冊数が全体的に昨年度より上がっています。しかし、北の台小学校だけ大幅に減少しておりますが、これは今年度大規模改修のため、図書室の閉室期間があり今までと比較して減少となっております。

次に下段の中学校に関する表をご覧くださいますと、東部中学校では若干減少しておりますが、全体的には前年度と比較して貸出冊数は増えております。また、平成 26 年 6 月から学校司書を配置しており、生徒と読書を結びつけている活動が少しずつ数字に表れている状況であります。

次に 6 ページの平成 27 年度 学校図書センターの取り組みとして主なものを 3 つ報告させていただきます。(1) の各学校の学校図書館の状況ですが、中学校の学校図書館の状況を学校別にまとめています。各学校ともテーマに基づき特集を組むことで、生徒の興味を引き、貸出につながっています。また、部活動や学校イベントと連携することで、資料の収集依頼や展示をする機会が増えている学校もあります。

次に(2) 今後の課題としましては、3 つあります。1 つは教員への授業利用の PR です。教員も読書のための本を借りるだけでなく、授業支援として、必要な資料を学校図書館だけでなく、公共図書館からも収集して提供することができることなど、学校司書がいることで、できることをより PR していき、教員にも利用されるよう取り組んでいきます。

2 つ目は貸出につながるような取り組み、3 つ目は授業で活用できるような蔵書構成の資料更新で、この 2 点については、昨年度から引き続きの課題として来年度も取り組んでいきます。

次に2の北の台小学校図書室リニューアルです。先ほどもお話ししましたが、北の台小学校では大規模改修工事が行われ、図書室も新しくなりましたので、図書室整備作業を図書館職員で行いました。学校の方で、工事前にダンボールに箱詰めした資料を図書館職員が本を取り出すところから始めまして、資料の配置、サインの作成、資料の装備、端末の設置などを行いました。冬休みに間に合わせることができましたので、児童には休み前にたくさん本を借りてもらうことができました。

7ページをご覧ください。3 児童図書学校巡回事業「豆次郎」利用数調査についてご説明いたします。豆次郎とは、木箱1台につき35冊の児童書が入っていて、その箱を各クラスに1台ずつ配置し、一か月ごとに隣のクラスに移動させ、夏・冬・春休みに入ると学校間移動させ、次の学校に届けて市内の小学校をぐるぐる巡回させています。平成14年に始まりましたが、どのぐらい利用されているか調査するのは、今年度が始めてです。現在、配置されている豆次郎は172台で6020冊になります。

第1回目の調査が1学期7月1日～24日までで、学級ごとにどのぐらい利用されているかの回数調査を行いました。第2回目は、2学期の8月19日～12月24日までの約4か月間です。豆次郎の図書1冊ずつに読んだら丸を書いてもらう調査票を貼り付け、1冊ずつの利用数調査を行いました。

手間はかかりましたが、今後の課題が明確になり、より一層児童に利用してもらうために、現在の児童数に合わせた台数配置や資料内容の見直しを図ってまいります。

【舟橋会長】

以上説明に対し質問や意見等がございますか。

【北川委員】

東部中学校では、学校司書さんのおかげで子どもの興味が着実に本の方に向いていって、非常に効果が見えると学校からも聞いています。

【舟橋会長】

ほかに意見等がないようですので、次の議題をお願いいたします。

【事務局:大久保主事】

平成28年度北広島市図書館及び学校図書センターの予算案概要を説明いたします。まず始めに、この予算案の概要は、今後、平成28年第1回議会の議決を受けて平成28年度予算として決定されることとなります。現段階での予算案であることをご承知置き下さい。それでは、図書館に関する予算案を説明させていただきます。

報酬は、図書館協議会委員報酬で、平成27年度から増減はありません。

報償費につきましては図書館利用モニターへの謝礼金で、こちらも前年度から増減はあ

りません。

図書館利用モニターとは、図書館サービスの資質向上を図るための外部評価システムとして、モニター2名を委嘱し、分館を含む図書館を利用・巡回し、定められたチェックシートを基に日常業務を検証していくもので、調査は匿名で行われます。

旅費については、本会議に関する旅費と、職員の旅費となっております。

需用費につきましては、主に本館と4地区館の図書購入費です。減額が大きいのは、27年度予算にて、臨時的に購入したもので、利用者カードと図書館用封筒を購入したためです。

役務費は、郵便料、道新記事、官報等のデータベース利用料です。

委託費は、主なものとして図書館窓口等業務委託費となっております。増額理由は、28年度は窓口業務などの委託契約の更新に当たり、委託費の積算を見直し、その中で、人件費の増額を加味し積算額が増額となったためです。

使用料及び賃借料については、図書館システムなどに関する借上料です。増額分は28年度において、利用者向けコピー機のリースの更新年にあたり、リース料金の単価上昇を見込み、増額となっております。

備品購入費につきましては、平成28年度で、ブックポスト用マットの購入を予定しております。

負担金補助及び交付金ですが、交付金に関しては市民との協働による図書館運営を進めるための、北広島市図書館フィールドネットへの交付金になります。負担金としては、日本図書館協会、北海道図書館振興協議会、石狩管内図書館協議会の会費となります。

公課費についてですが、移動図書館車の重量税となっております。前年度から増減はありません。

合計すると、平成28年度の図書館運営経費は92,989千円となります。

続きまして、学校図書センターに関する予算案を説明いたします。

需用費は、小・中学校の図書購入費と、学校図書室の新聞購入費などで、減額理由は、委託費が増額した影響で、事業費全体で調整するため需要費で減額となりました。

役務費は、学校巡回図書「豆次郎」の運搬費用で、年3回実施いたします。

この「豆次郎」とは、全小学校の各学級に35冊の本が入った木箱を配置し、1ヶ月ごとに学級間を巡回させ、4ヶ月ごとに学校間を巡回移動する、児童図書学校巡回事業です。

委託費は、学校図書センター運營業務と学校図書館支援業務の委託費であり、学校図書センターの委託職員1名と学校司書3名となっております。増額理由は、先ほどの説明にありましたが、28年度は委託契約の更新に当たり、委託費の積算を見直し、積算額が増額となったためです。

使用料及び賃借料は、学校図書ネットワークシステムなどの借上で、前年度との増減はありません。

合計すると、平成 28 年度学校図書館センター予算額は 16,771 千円となります。

【舟橋会長】

以上の説明やこれまでの報告案件に対し質問や意見等がございますか。

【名越委員】

空いた時間には図書室を利用しているのですが、お勧め本のコーナーが目につくところにあるのがよく、また、学校司書の取り組みについてですが、本をわかりやすく配置していたり、授業への支援もあり、学校に密着できていて、司書がいるのといないのでは大きく違うと思います。

【伊藤委員】

ちなみに学校司書は何名体制ですか。

【事務局:長岡主任】

西部小は別の動きになっていますが、中学校のみを対象として、3名の学校司書で1人につき2校担当し、1週おきに回っている状況です。

【名越委員】

表を見ると中学校の利用が倍近く伸びているがその影響もあるかもしれませんね。

【正木委員】

豆次郎の本の入れ替えの時期は。

【事務局:長岡主任】

夏休みや冬休み、春休みなどの長期休暇中に、破れた本や壊れた本などの入れ替えを行っています。

【岡本委員】

北の台小学校では本を借りている様子が増え、活気にもあふれていますよね。

【事務局:蛭名主査】

7ページの補足ですが、3割の本が未利用で一度も読まれていないとわかりました。そのことから、読みやすい本を増やすなど改善をしていきたいと考えております。

【伊藤委員】

その未利用の本の中には厚い本もあるのですか。

【事務局：蛭名主査】

はい、やはり外国文学など厚い本が多いです。

【舟橋委員】

小学校の英語の本もあるのですか。

【事務局：長岡主任】

現状は少ないので、そういった学習の本をこれから増やしていきたいです。

【岡本委員】

豆次郎の選書は誰が行っているのですか。

【事務局：長岡主任】

図書館の司書が行っています。

【名越委員】

こういった調査は何が読まれていないかわかり、いい取り組みだと思えます。これを反映して本の入れ替えなど行っていただきたいと思えます。

また、6 ページに教員への授業利用 PR とありますが、中学校では学校図書センターの取り組みは認知度が低いので、是非 PR を行っていただきたい。

【後藤委員】

そういったデータの活用も重要であると私は考えております。集めたデータをグラフ化していくといいと思えます。読書活動は学力の向上にも結びつきます。また、本と接することはとても重要で、論理的な思考なども培います。小・中学校、幼稚園の頃からそういった学びが重要であり、図書館の意義が大きいと私は思います。北広島市ではそういった取り組みをどんどん行っていきますし、モデルケースになりうると思えます。

もうひとつ、AV コーナーは多様なニーズに応えられておりますが、広報を活用して広く周知して欲しいと思えます。

【伊藤委員】

北広島西高等学校の図書局の生徒などに、本の貸出や、読み聞かせ等、ボランティア活動として協力してもらえば、図書館の裏方の雰囲気味わえ、いい社会勉強になると思えます。

ます。

【後藤委員】

そうですね、社会貢献にもなるので、是非協力したいと思います。

【伊藤委員】

ちなみに小豆の状況はどうなっていますか。

【事務局：長岡主任】

保育園・幼稚園合わせて、4園に絵本を巡回させております。これから他にも声をかけて、保育園・幼稚園の参加数を増やしたいと考えております。

【舟橋会長】

他に何かご質問等がありますか。無いようですので、以上で議事は全て終了になります。

【閉会：舟橋会長】

以上をもちまして、平成27年度第1回北広島市図書館協議会を閉会させていただきます。